

## 「情報の時間」のカリキュラム

### 1年生の指導内容

1年生では，体験的な学習内容の充実，コミュニケーションの重視，シンキングツールとの出会いが中心となります。

写真はイメージであり，過去のものを含みます。

#### コミュニケーション 単元「人とのコミュニケーション」 5時間

普段あまり意識されることのないコミュニケーションについて，情報のやりとりの面からの理解を多様な場面設定の議論などを通して深めました。情報の伝達手段は様々な変遷を経て発達しています。人同士の情報のやりとりや，対多数の場合での情報伝達に関して考えることで，その技術や工夫を理解しました。



みんなでアイデアを出し合う

#### コミュニケーション 単元「メディアによるコミュニケーション」 5時間

情報が一方的に伝達されるものと相互にやりとりされているものについて目を向けて，特徴をまとめたり，比較したりして，望ましい情報の発信や，情報を受け取る態度について考えました。あるシーンを音のみ聞いて，あるいは，映像も合わせて想定する場合などの場面を設定し，情報伝達には様々な手段が講じられていることを実感しました。コミュニケーションは言葉や音，さらに紙やレコーダーを通して保存，記録されます。そのために，メディアを通じたコミュニケーションの特徴について作業を通して考えました。



メディアの特徴を学ぶ

#### 情報の活用 単元「アイデアを練ろう」 8時間

ものごとをいろいろな視点から興味を持って見ないと大切な情報でさえ見落としてしまうことを体験し，情報は受け手によって変化することを理解しました。受け手を意識したアイデアの必要性を学び，コミュニケーションのために新たな発想が迫られることを理解しました。アイデアが見える形にするために，シンキングツールを利用し，アウトラインより発想を広げ，対比や集合で見ることによって，見落としている要素に気づくことができました。



シンキングツールを“体験”

#### 情報の活用 単元「分析しよう」 8時間

情報源とは，様々な特徴や特質をもった情報の集まりであるといえます。情報は，そのまま集めただけでは，その情報源の本質を見抜くことにはつながりません。ある情報源からの情報を整理し，その特徴を分析することに意味があります。いくつかの情報源から情報を抽出して，実際に分析を行いました。シンキングツールで情報を分析して問題を解決するための必要な原因を探し，集めたデータから課題解決のために実践したものを検証し，分析する一連の流れを学びました。



情報を分析する手法を知る

#### 情報の活用 単元「発表しよう」 8時間

言葉を聞いて「絵」に描いたり，「絵」に描いたものを言葉に直したりすることを例に，情報をより効率的・効果的に伝える方法を学びました。情報を入づてに言葉で伝えると，情報が欠落したりゆがんだりすることがよくあります。そこで，情報を入づてに言葉で伝えるときに，できるだけ早く正確に伝える方法を学びました。「情報を言葉で伝える」という点ではニュースも演説もプレゼンテーションも同じですが，ニュースのように淡々と話していないことも確かです。「よりよく伝わる」ためにどのように話せばよいかを学びました。



「伝える」ために情報を練る

## 2年生の指導内容

2年生では、データの扱い、メディアの操作、メディアによる表現の習得が中心となります。

### データと情報 単元「データ量と情報量」

5 時間

さまざまな情報をあらかじめ整理・分類しておく、収集した情報をいつでも必要ときに活用することができます。情報を整理・分類するための効果的な情報活用方法を、学びました。コンピュータで整理・分類すると、形式化・符号化が求められます。他との違いを考えながら、必要になる場面を考えました。とくに、データ量と情報量の違いを、事例を通して理解しました。情報量に応じて、作文や新聞記事、標語、川柳、俳句から適切な情報活用方法を学びました。



データのサイズ(量)を実感

### データと情報 単元「データの質とデジタルデータ」

5 時間

情報を正しくとらえる上で情報やデータの定義を知るとはとても大切なことです。データには、文字、数字、記号といったものがあります。それらのうち、数値データにふれながら、数値データを正しく読み解くことについて学びました。アナログデータとデジタルデータの違いやそれぞれの良い点・悪い点について理解し、デジタルデータをコンピュータで用いながら、その扱いやすさやデジタル化することによる便利さについて学びました。データは、情報を端的に表すものとしてよく用いられます。正しくデータに向き合うことについて考えました。



デジタル化の過程を学習

### 情報の処理 単元「データを集めよう」

8 時間

意味のあるデータの集まりである「情報」を創造するために、データを効率的・効果的に集める方法を学びます。WEB からの情報だけではなく、デジタルカメラやイメージスキャナなどの機器を使いながら、情報を創造するのを目標としたデータの作成方法を学びます。



ツールの活用方法を学習

### 情報の処理 単元「データを処理しよう」

8 時間

コンピュータはデータの蓄積や利用に大変適した機械です。コンピュータをつかってデータを蓄積・検索するための方法と、それらを学習や生活に有効に利用する方法について学びました。データベースを簡単に扱えるソフトウェアをつかって身の回りのデータを整理し、表計算ソフトウェアで電卓では不可能な計算をさせてみました。応用範囲が広いデータベース機能を使って、複数の条件による抽出など、少し複雑な抽出を体験しました。



多様な情報処理メディアを体験

### 情報の処理 単元「マルチメディアで表現しよう」

8 時間

マルチメディアによって情報を発信し、情報を共有できれば、より有効に情報を利用できることとなります。マルチメディアによって情報を発信する時に留意することについて考え、Web ページのデザインを通してインターネットによる情報発信の方法について学びました。ネットサーフィンと言われるように、ハイパーリンクによってさまざまな Web ページに軽々とアクセスすることができます。Web ページの特性であるリンクの方法についても学びました。公開するにふさわしいかどうか考えてから発信することが大切です。Web ページを内容・デザイン性という観点でとらえ、適正にまた効果的にコンテンツやデザインを考えました。



複数のアプリケーションの操作